

The Expertise of Specimen Preparation

-The Museum is supported by Professionals-

収集された自然物や科学技術の産物などの「モノ」を研究、收藏あるいは展示などの目的に合わせて「標本化する」ことによって、初めて「モノ」は「標本」としての命を獲得する。

標本づくりの技を習得した者は「職人」と呼ぶに相応しく、職人と標本づくりの質が標本の価値を左右する。

NATL.
NAT.

NATL.MUS
NAT.SCI.

Date 2018/9/4~2018/11/25
Loc. National Museum of Nature and Science

職人たちが支える科博

企画展

標本づくりの

技ワザ

「標本」とは、博物館などが、自然界に存在する様々なものを多種多様な目的に沿って全体の中から取りだし、観察・調査する対象の一部を構成するもの。

2018 9/4(火) ~ 11/25(日)

国立科学博物館（東京・上野公園）日本館1階企画展示室

- 開館時間 ■ 午前9時～午後5時 ※金曜・土曜日、10月31日(水)、11月1日(木)は午後8時まで
- 休館日 ■ 毎週月曜日(月曜日が祝休日の場合は開館し、火曜日休館。ただし、10月1日(月)は開館)
- 入館料 ■ 一般・大学生620円(団体500円) 高校生以下および65歳以上無料
※常設展示入館料のみでご覧いただけます。
- 主催 ■ 国立科学博物館



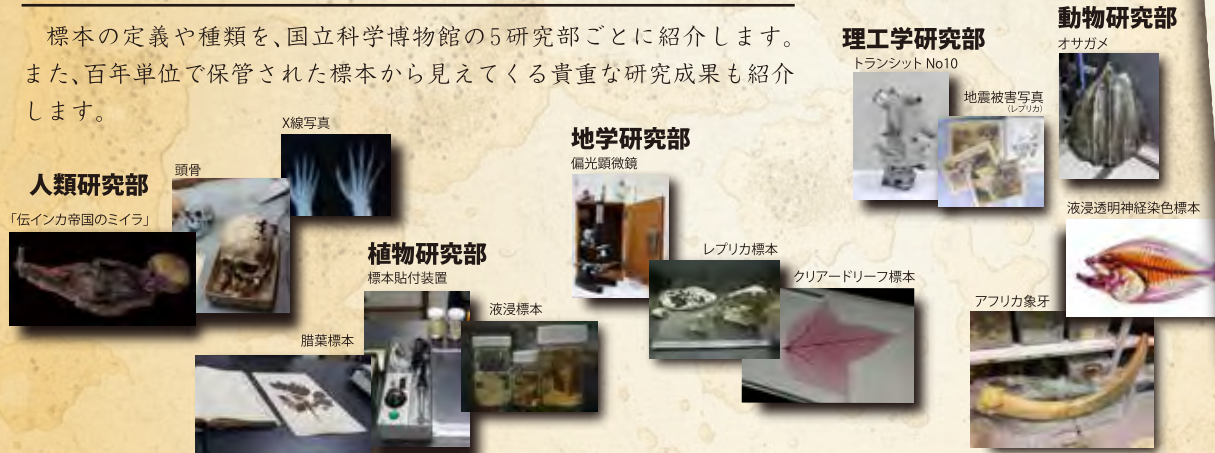
国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

企画展
標本づくりの技
職人たちが支える科博

博物館が収集した自然物や科学技術の産物などの「モノ」は、「標本化」という手順を経てはじめて、標本として研究や展示に活用され、長期保管が可能となります。本展では、標本とは何か？に始まり、あまり知られていない標本づくりの「技」を、国立科学博物館の動物・植物・地学・人類・理工学の5研究部ごとに紹介します。標本づくりの技を習得した者はまさに職人と呼ぶに相応しく、職人たちと標本づくりの質が標本の生命を左右します。職人たちによって作られた数々の標本に加え、標本づくりの技や道具類も数多く展示します。また標本づくりの作業現場も再現しました。まるで博物館のバックヤードにいるような臨場感をお楽しみください。

標本とは何か？

標本の定義や種類を、国立科学博物館の5研究部ごとに紹介します。また、百年単位で保管された標本から見えてくる貴重な研究成果も紹介します。



標本づくりの部屋をのぞいてみよう！

収集された自然物や科学技術の産物などの「モノ」がどのように「標本」や「資料」としての命を獲得するのか、そのプロセスを研究部ごとに臨場感を持って再現します。



【講演会】「標本づくりの技(ワザ)を語る」

【会場】日本館 2階講堂 【日時】9月22日(土) 14:00 ~ 16:00

【事前申込制】 ※申込方法は、台東区ホームページ内、上野の山文化ゾーンフェスティバル【講演会シリーズ】のページをご覧ください。(http://www.city.taito.lg.jp)

お問合わせ：上野の山文化ゾーン連絡協議会事務局 Tel: 03-5246-1153(平日 8:30 ~ 17:00)
※お申込受付開始 8月20日(月) ~ メ切 9月6日(木) 必着

【プレミアムフライデー ギャラリートーク】

本展担当研究者による展示解説を実施【事前申込不要】

【会場】日本館 1階企画展示室 【時間】18:00 - 18:30

◆第1回 9月28日(金) ◆第2回 10月26日(金)

※講演会、ギャラリートークの詳細はホームページをご覧ください。
<http://www.kahaku.go.jp/>

【交通ガイド】

- ◆JR 「上野駅」公園口から徒歩5分
- ◆東京メトロ 銀座線・日比谷線 「上野駅」から徒歩10分
- ◆京成電鉄 「京成上野駅」から徒歩10分

※駐車場はありませんので、お車での来館はご遠慮ください。

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20
TEL: 03-5777-8600 (ハローダイヤル)
FAX: 03-5814-9898

